

## 令和2年度滝野南小学校学校評価

学校教育目標 **ともに生き、自分を生かす力を育てる**    めざす児童像 **ともに挑む子（ともに認め合い支え合い伸びていく子）**

<\*採点 4…できた 3…ややできた 2…ややできなかった 1…できなかった>

### < 一 ともに挑む（ともに認め合い支え合い伸びていく）学級づくり >

No.	実践目標	採点平均	来年度に活かす点
1	見通しと振り返りを位置づけ、子ども同士に互いのめあてや努力を認め合わせる。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事では、担当からねらいとするものが出されるので、学年に応じて、子どもにめあてを立てさせて、共有させる。</li> <li>・ふわふわの木、来年度も取り組んでいく。</li> <li>・いろいろな子どもたちに、教師の様々な目が行き届くように、複数体制作りを明確にしていく。ミーティング等でも、教師のかかわりを明確に書く。</li> </ul>
2	人権教育や特別支援教育の視点を大切に、子どもの気持ちや困り感に寄り添いながら、互いをつなぐ言葉を大切にさせる。	3.4	
3	子どもとの触れ合い（一緒に遊ぶ、話を聞く）を大事にしながら、児童理解を基盤に置いた学級づくりを進める。	3.4	

### < 二 ともに学び高め合う授業づくり >

No.	実践目標	採点平均	来年度に活かす点
4	子ども同士のつながりを大切に、子どもにとって主体的な学習を進める。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間カリキュラムを見直して、国語辞典や漢字辞典、ことわざ、漢字の成り立ちなど、言語成果物を作成する単元を洗い出し、来年度の掲示物年間計画に位置付ける。</li> <li>・タブレットPCも、目的ではなく手段として活用していく。必要な手段・有効な手段であるときは、どんどん活用していくが、そうでないときは活用しない判断も必要。</li> <li>・ドリルパークなど、学年をまたいで復習をさせたり、予習をさせたりなど、継続して使っていく。</li> </ul>
5	「読む・書く・話す・聞く」力を高めるために、言葉を大切にさせながら、「言葉の力」を育む授業づくりを進める。	3.4	
6	タブレットPCを積極的に活用し、子どもの学習意欲や関心を高め、基礎基本の確かな定着ならびに、ともに学び合う授業実践につなげていく。	3.6	

### < 三 自主的、自立的な態度の育成 >

No.	実践目標	採点平均	来年度に活かす点
7	学級活動や児童会活動の充実を図り、学級・学校生活向上に意欲をもつ子どもの育成に努める。	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度もリモート朝会を続けるが、全校生が集まる場合と、リモートで集会朝会を行う場合など、使い分ける。</li> <li>・項目「8」について 来年度も今年度の取組を続けていく。</li> <li>・今年度はじめに確認し、配布した「南小学習の手引き」を来年度も活用していく。</li> </ul>
8	健康な体づくり、もくもく掃除、さわやかな挨拶と言葉遣い、清潔で整頓された環境づくり、規律ある行動、温かな人間関係づくりなどにより、良い生活習慣を身につけさせる。	3.3	
9	「家庭学習の手引き」の活用や自主学習、読書の推進により、望ましい学習習慣の確立に努め、自学力を育てる。	3.3	

### < 四 気持ちの良い、安全安心の環境づくり >

No.	実践目標	採点平均	来年度に活かす点
10	子どもたちの「言葉の力」を育み、学習・生活意欲向上につながる掲示を工夫し継続する。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだ学習用語を掲示し、学びを積み重ねていく。</li> <li>・今後も、何かあるだろうという危機感を持って、複数で続けていく。</li> </ul>
11	日常における安全点検を徹底するとともに、防災・防犯・交通安全指導等の充実に努め、常に危機意識を持って、子どもの安全に気を配り、迅速に対応する。	3.8	
12	掃除と整頓が行き届いた、心が安らぐ花いっぱい学校にする。	3.2	

### < 五 地域に根ざし開かれた特色ある学校づくり >

No.	実践目標	採点平均	来年度に活かす点
13	ホームページや学校便り、学級便り等を通して、保護者や地域に情報発信を積極的に行う。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの子どもたちの様子を各学年で作成する。写真と一言コメントをセットにして、所定のフォルダに保存する。アップは担当で行う。頻度は来年度検討する。</li> <li>・今年度、あいさつが大切であると伝えてきたことを、今後も継続して伝えていく。あいさつ運動などを児童を中心に実施する。</li> </ul>
14	立当番の保護者や見守りの地域の方々、学校に来られたお客様に、子ども自らあいさつができるようにする。	3.1	

### < 六 連動する組織づくり >

No.	実践目標	採点平均	来年度に活かす点
15	定例ミーティングや必要に応じた対策会議により児童理解を共有し、チームで指導に当たるとともに、報告・連絡・相談による課題への迅速な組織的対応を行う。	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標や方策の設定・見直し等、学期ごとにきちんと振り返りを行っていく。</li> <li>・学期ごとにまとめて振り返るだけでなく、もう少し細かい期間で振り返る機会が持てるようにする。</li> </ul>
16	学級づくり・授業づくりの改善につなげるために、授業研究に加え、「南小研究プランニングシート」等の見直しを図り、活かし合う研修を進める。	3.2	
17	踏襲ではなく、たとえわずかでも、改善点を明確にした提案を行い、組織で取り組む。	3.5	

## 令和2年度 滝野南小学校 関係者(学校評議員5名)評価結果

教育目標（「ともに生き、自分を生かす力を育てる」）達成のための重点

(1)ともに挑む（ともに認め合い支え合い伸びていく）学級づくり

- ① 見通しと振り返りを位置づけ、子ども同士に互いのめあてや努力を認め合わせる。
- ② 人権教育や特別支援教育の視点を大切にして、子どもの気持ちや困り感に寄り添いながら、互いをつなぐ言葉を大切にさせる。
- ③ 子どもとの触れ合い(一緒に遊ぶ、話を聞く)を大事にしながら、児童理解を基盤に置いた学級づくりを進める。

評定4 非常に良い①	評定3 良い④	評定2 課題がある	評定1 要改善
---------------	------------	--------------	------------

(2)ともに学び高め合う授業づくり

- ① 子ども同士のつながりを大切にして、子どもにとって主体的な学習を進める。
- ② 「読む・書く・話す・聞く」力を高めるために、言葉を大切にさせながら、「言葉の力」を育む授業づくりを進める。
- ③ タブレットPCを積極的に活用し、子どもの学習意欲や関心を高め、基礎基本の確かな定着ならびに、ともに学び合う授業実践につなげていく。

評定4 非常に良い②	評定3 良い③	評定2 課題がある	評定1 要改善
---------------	------------	--------------	------------

(3)自主的、自立的な態度の育成

- ① 学級活動や児童会活動の充実を図り、学級・学校生活向上に意欲をもつ子どもの育成に努める。
- ② 健康な体づくり（外遊びや年間体力作り）、もくもく掃除、さわやかな挨拶と言葉遣い、清潔で整頓された環境づくり、規律ある行動（5分前行動や集合時の態度など）、温かな人間関係づくり（学級活動、縦割り班活動、クラブ活動など）などにより、良い生活習慣を身につけさせる。
- ③ 「家庭学習の手引き」の活用や自主学習、読書の推進により、望ましい学習習慣の確立に努め、自学力を育てる。

評定4 非常に良い②	評定3 良い③	評定2 課題がある	評定1 要改善
---------------	------------	--------------	------------

(4)気持ちのよい、安全安心の環境づくり

- ① 子どもたちの「言葉の力」を育み、学習・生活意欲向上につながる掲示を工夫し継続する。
- ② 日常における安全点検を徹底するとともに、防災・防犯・交通安全指導等の充実に努め、常に危機意識を持って、子どもの安全に気を配り、迅速に対応する。
- ③ 掃除と整頓（清掃の行き届いた清潔な環境の整備、整理・整頓された教材・教具、学級園等の整備、靴のかかどがそろった昇降口）が行き届いた、心が安らぐ花いっぱい为学校にする。

評定4 非常に良い①	評定3 良い④	評定2 課題がある	評定1 要改善
---------------	------------	--------------	------------

(5)地域に根ざし開かれた特色ある学校づくり

- ① ホームページや学校便り、学級便り等を通して、保護者や地域に情報発信を積極的に行う。
- ② 立当番の保護者や見守りの地域の方々、学校に来られたお客様に、子ども自らあいさつができるようにする。

評定4 非常に良い①	評定3 良い④	評定2 課題がある	評定1 要改善
---------------	------------	--------------	------------

(6)連動する組織づくり

- ① 定例ミーティングや必要に応じた対策会議により児童理解を共有し、チームで指導に当たるとともに、報告・連絡・相談による課題への迅速な組織的対応を行う。
- ② 学級づくり・授業づくりの改善につなげるために、授業研究に加え、「南小研究プランニングシート」等の見直しを図り、活かす研修を進める。
- ③ 踏襲ではなく、たとえわずかでも、改善点を明確にした提案を行い、組織で取り組む。

評定4 非常に良い①	評定3 良い④	評定2 課題がある	評定1 要改善
---------------	------------	--------------	------------

次年度に向けて、学校運営についてご意見をお願いいたします。

- ・ すごく良い学校だと思うので、自信をもって、いろんな事に取り組んでいただきたいです。
- ・ コロナ禍の中、いろいろと子どもたちのために頑張ってくださっている様子、ありがとうございます。小規模の学校の良さを生かし、これからもよろしく願います。